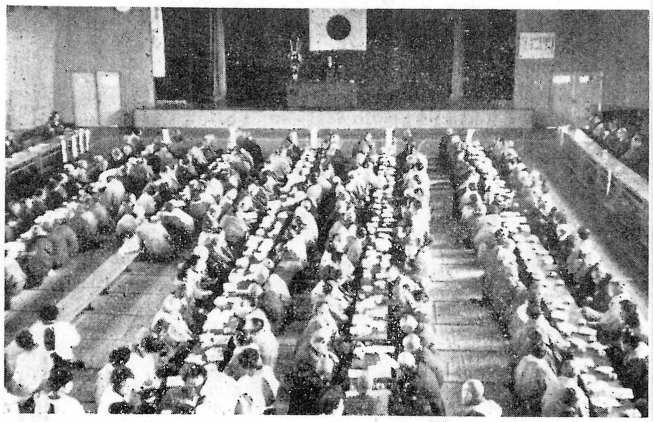
くにみ

【才87号】
昭和39年12月15日発行
非売品
発行所　国見町公民館
発行人　佐藤善次郎
編集人　鈴木美一
印刷所　宇佐美印刷所

"としよりを孤独にするな"
みんなで老人をはげまそう



近頃日本人の平均寿命は年ごとに伸び、男六十六才、女七十一才（昭和三十七年度）をこえ、世界の長命国の仲間入りをしたといわれるようになった。一方、家族計画の普及などによって国民人口の中に占める老人人口は、その絶対数においても、全体に対する割合においても、増加の傾向を示している。すなわち、大正九年以来四〇年の長きにわたって、国民人口の中において占める六十五才以上の人口の割合は、四%ないし五%にしかすぎなかったが、昭和三十八年に入って、ついに六%をこえ、そして四十五年には七%に達するものと推計されている。この割合は今後ますます上昇を続け、やがては一〇%をこえるものと推測されている。しかも、わが国の労働市場はこれらの増加しつつある老人の労働力に対しきわめて冷淡で、一般的傾向としては、五十五才ないし六十才定年制をしき、一旦職をはなれた老人の就業はいちじるしく困難になっている。一方、戦後家の制度の崩壊により、老後の安住を願って描きつづけてきた家庭の夢はむざんにも破られつつある。

以上を要約すると

○日本人は平均寿命が伸びて長生きできるようになった。然し長生きして自他共に喜ぶような意義ある生活をすることができるかどうか。

○国民人口が老化していく。老人の多い国、扶養人口の多い国、国家としても由々しき問題である。

○老人の就業は困難である。まだまだ働ける体で仕事がないということはつらいことである。

○家族制度の変革により、老人は孤独になる。

こうして老人は、社会的にも家庭の中にあっても、きわめて不安定な状態になってきている。西欧のことわざに「孤独は老人期の最大の悲劇である」という言葉があるが、わが国の老人にも、その悲劇が訪れてきつつあるのである。わが家にとっても、わが町わが部落にとっても、偉大なる功労者であり、大恩人であるはずの老人を粗末にしてはならない。もちろん国家としても老人福祉法を制定したり老人ホームその他の福祉施設を急いでいることであり、地方自治団体でもそれぞれ老令年金を贈ったり、いろいろの施策を実施している。しかしこれらのことは、莫大な数にのぼる老人に対する施策としては、二階から目薬程度のもので、その恩恵に浴せない老人がたくさんあることを考えなければならない。

今、老人たちは、自ら老人クラブをつくって自分たちの力によって相互に助け合い、余生を楽しく生きようと努力している。その意気はまことに壮なるものではあるが、それにしてもあまりに高令に過ぎ、肉体の力がいうことをきかない。殊に団体活動の源泉ともなる学習活動に至ってはほとんどその意欲を失っているの観がある。今度、国見町内各老人クラブでは老人学級を開設して大いに勉強しようということになったようだが町民みんなでこれを応援し、その成功を期待したいものだ。「今日は人の身、明日はわが身」といわれる。われわれもいつかは老人になる。特に六十五才以上の若い人にも参加を希望されているようだから、これらの人は一つは自分のお手伝い先輩への恩返しの意味でぜひ参加されたい。

酒

自分の限界を知って
酒の上の事故とは縁切り

…すすめる側にも問題…

十二月から新年にかけて、ジングルベルがなりひびき、忘年会、新年会、顔合せ、廻礼と酒をのむ機会が多くなります。酒による事故や悲劇を数多く耳にするのもこのころです。

酒をのむことにもいろいろありますが〃好きでのむ酒〃つきあいでのむ酒〃見栄でのむ酒〃と事情はまたさまざま。

〃では酒の上手なのみ方というのはどうでしょうか。自分の適量を知るということが最大の条件のようです。自分の限界を知って、ことわる度量と勇気がほしいと思います。

これにはすすめる方にも問題があり。そうでなくとも、男は職場の内と外とのつきあい、用談、商談に酒がつきまといますから、無理がたたって寝こむ人もでるくらい。それだけならまだしも、命まで終るのは泣ききれません。

ある人の研究では、酒をのんで運転をしたことのある人が六一%、酒好きの人ではなんと八九%、嫌いな人でも五四%がハンドルをにぎっているのです。好きな人はもちろん、嫌いな人でも飲んで運転しているのは、やはり会議などで酒がでたり、行き先ですすめられてというのがほとんどです。知人、友人に誘われてというのがその次。いかにまわりから強いられているか、人にすすめられているかがよくわかります。〃車を運転する人には。酒を売らない、飲ませない〃と宣言する町もたくさんありますが、これはぜひ徹底させたいものです。

ある人の生活には、喜怒哀楽、常に酒がつきそっています。冠婚葬祭にも酒が重要な役割をはたしています。来年は参議院の選挙が予定されており、国会も解散ぶくみということから、選挙にからんだ黒い酒が横行しはじめるかもしれません。日本人は酒をご馳走になると、大きな借りができたとでも思う習性があるのでしょうか。こんなことで、みみず大事な権利を棄てたり汚したりしないようにしたいものです。

酒は適度にのめば害になるものではありませんが、あまり執着しすぎると自分を破滅に追いやったり、家族を苦しめる状態を生み、ひいては社会的にも大きな被害を与えてしまいます。もつと上手なのみ方を考えていいのではないでしょうか。

高令者学級（65才以上）

"わしらも若返って勉強しよう"

国見町公民館では、こんど老人クラブの協力をうけて、高年者の方方の学習会を開くことになりました。

戦後、義務教育の制度が改められ、六・三制の実施により、現在の青少年はもちろん三十代の壮年たちは、すでに民主主義を基調とした新教育をうけているし、四、五十代の人々もいろいろ社会学級その他の機会を通して、新しい時代に適応する学習を進めてきた。

六十代以上の人々も、旺盛な研究意欲によってそれぞれ学習に努め、新しい指導者としてふさわしい人も多数ないわけではないが、比較的学習の機会にめぐまれない今年度内には差当り二回の予定

三、いつどこで……

才一回は一月中に

十日（日）藤田小学校

十三日（水）大木戸小学校

十六日（土）森江野小学校

十八日（月）大枝公民館

二十日（水）小坂小学校

◎午後一時より四時まで

才二回は二～三月の予定

才一回に決める

四、どんなことを……

新しい世の中のろいいろなことの中から、みんなの知りたいこと、知らねばならぬこと、みんなでできて見学旅行

五、どんなやり方で……

先生のお話をきく

映画やスライドを見る

それをもとにみんなで話しあう

他の階層（青年や若妻たち）との話し合い

六、講師、助言者……

町内又は町外からそれぞれ研究主題にあった先生をたのむ

七、経費、全部公費でまかなうので個人負担はない但し見学旅行など特別の場合はこの限りでない

だくため、学習会を開きます。仮称老人学級としてあります。決して老人クラブ会員とか七十才以上の方だけを対象としたものでなく、六十五才以上の男女の皆様全部に参加いただきたいのです。もちろんそれ以下の方でもさしつかえありません。

○今の教育、昔の教育

○これからの農業

○世界のくにぐに

○道路交通法

○老人福祉法

○老人の役割

十日（日）藤田小学校

十三日（水）大木戸小学校

十六日（土）森江野小学校

十八日（月）大枝公民館

二十日（水）小坂小学校

◎午後一時より四時まで

才二回は二～三月の予定

才一回に決める

四、どんなことを……

新しい世の中のろいいろなことの中から、みんなの知りたいこと、知らねばならぬこと、みんなでできて見学旅行

○健康で長生きする方法

○明るく楽しく暮らす方法

○昔の憲法、今の憲法

○民主主義とわれらの生活

○明るい政治と公明選挙

成人式への協力など
婦人会でそうだん

国見町婦人会では十一月三十日（月）午前十時より役場に各単位会の役員及び部落代表ら三十余名が参加し、次のことについて熱心に話し合った。

一、成人式の協力について

明年一月十五日行われる成人式には、母親として祝意を表わすため、いつものように赤飯をつくる。

尚成人者の服装については、なるべく訪問着を見合わせ洋服を用いるよう関係者の協力をお願いすること。

二、公明選挙の推進について

明るい政治のもとは公明な選挙にあることを自覚し、政治学習をとおして常時啓発につとめること。

特に年末年始や婦人団体活動を利用して働きかける巧妙な事前運動には絶対のらないように気をつける。

買収供応の手をつかう候補者には絶対投票しない運動をする。

四、老人対策について

年一～二回の敬老会等に満足することなく、いろいろの敬老活動を工夫し、会員や若い人の敬老思想を養うよう努める。

五、青少年対策について

青少年の教育は幼児から始め、小中学校卒業後までつづくが、家庭教育の担当者としての婦人の役割の大きいことを自覚し、大いに教養に努めるようはげまし合いましょう。

六、年末年始対策について

1、春の凍霜害から秋の長雨の被害はまことに大きい。支出を少くするため消費節約につとめよう。

2、虚礼廃止。

嫁よびなどごく近親者にとどめる。

3、宴会の簡素化。

4、酒のみ運転の防止。

5、家族中心の家庭行事を工夫しよう。

七、皇居勤労奉仕について

かねて申請中であつたこのことが宮内庁から許可になつたので、各方部参加者はその準備をすすめること。尚具体的なことは参加者会合して協議する。

八、婦人講座の実施について

次のように才三回巡回婦人講座があるので、会員ばかりでなく、その他の人々も出席するよう広報につとめること。

11月22日　小坂　安原先生

12月3日　大枝　吉岡先生

仝　4日　森江野佐藤先生

九、いろいろな国民（町民）運動の推進について

社会には公明選挙運動をはじめ、いろいろな国民運動が行われているが、いつも上層部でばかりさわぎ、一般国民（町民）に少しも徹底しない。自分らみんなのためのこれらの運動が会員一人一人の実践活動になるよう努力しよう。

○火災予防運動

○交通安全運動

○道路愛護運動

○国土美運動

○旅のエチケット運動

○貯蓄増強運動

その他

永井文心先生と決る

高令者学級の講師

別項高令者学級は一月十日の藤田方部を皮切りに各方部を巡回することになったが、講師として伊達社会福祉協議会主事の永井文心先生をお招ぎし、「新しい時代のとしよりの心構え」について約一時間お話をきき、映画「集った老人たち」「あとより」「これからの農村生活」などをみて話し合いをすることにきまった。

各地区とも六十五才以上の方はもちろん、六十五才未満の方もご出席ください。

◎絶対出すまい火事と交通事故　◎成式人には質素な服装で

◎芸能祭は春に延期……伝染病多発のため十二月二十日予定の芸能祭は春に延期されました

うたいだした民謡研究会

毎週金曜日……保育所で

みんなで楽しく歌いましょうと、かねて準備中の民謡研究会も、いよいよ発足し、毎週一回金曜日の晩、保育所の一室を借りて練習している。会員はいま二五人だが、これからもますますふえる見込みで、殊に桑折、梁川等他町からも入会の照会がきていること、参加希望者は国見町公民館又は役員、会員を通して申込んでもらいたい。

●要項は次の通り

一、参加資格　国見町民ならだれでもよい。

二、会費　一か月五〇円

三、役員及び顧問

会長　野村隆一

副会長佐久間直次

会計　渡辺等

幹事　小野寺省二（小坂）

佐藤　寅一（藤田）

佐野　守（森江野）

後藤忠男（大木戸）

玉手　正平（大枝）

顧問

大沼西治、佐藤善次郎の諸氏

四、練習日　毎週金曜日午後七時より同九時まで

五、場所　藤田保育所

六、練習曲目は全国各地の代表的な民謡を選び練習する

七、うたうだけでなく、三味や太鼓など伴奏もけいこする、踊りもやることになろう。

今予定されている曲目表の中から二、三書きぬいてみると

宮城　米山甚句

さんさ時雨、塩釜甚句

斉太郎節、遠島甚句

岩手　外山節、南部牛追唄

青森　八戸小唄、津軽よされ節

秋田　秋田おばこ、秋田音頭

生保内節、おこさ節

山形　真室川意頭、花笠音頭

庄内おばこ、新庄節

最上川舟唄

北海道　江差追分、ソーラン節、北海盆唄

新潟　三階節、佐渡おけさ

米山甚句

茨城　磯節

千葉　木更津甚句、おいとこ節、大漁節

東京　お江戸日本橋

大島節

（以下略）

映画のご利用について

◎定期巡回を中止します

ことしの春から始めた「定期巡回映画」は都合により中止します。毎回非常な熱意をもってご協力ご利用いただきました部落に対し、厚くお礼申上げます。尚今後は以前なような方式（次項）でご利用いただきますので倍旧のご協力を願います。

◎巡回映画は希望部落だけで計画を立て実施します。部落長さん（又は分館長さん）は区域内の方々の希望があったなら区域内の技術者を通して、又は直接に町公民館に申込んでください。

◎臨時映画会の開催はその都度お申込みください。機材の都合つき次第ご要望に応じます。

◎学習活動への利用をおすすめします。

各種学級や団体集会における学習に教材としてご利用されるようおすすめします。県よりの定期配分二〇本郡ライブラリーに三〇〇本郡公連備品　二本県ライブラリー　数百本ご相談に応じます。

ヨクマナビ、ヨクアソベ

―芸能祭に憶う―

年輩の人ならだれでもおぼえていることだが、昔の修身には「ヨクマナビ、ヨクアベ」という文句があった。この原文は、もとフランスからきたもので、勉強や仕事ばかりしているのが人生でなく、勉強も遊びもともに大切だという意味だそうである。

しかし、わたくしたちは、この前半の方は熱心に教えられたが、その後半の方は、子どもだから遊ぶのは仕方がない、遊ぶときにはけんかをしないように遊べとか、わるいことをしないで遊べと教えられた。だから、遊ぶことの大切さを実感として学んだのではない。大人になると忙しさにまぎれて、つい人生のあり方を見失ってしまう。

それに比べると、いまの子どもたちは、実によく遊ぶ。テレビもあるし、切手あつめもあるし、野球もある。だから遊ぶことの必要感は、これから大人になっても続いていくにちがいない。

しかし、遊ぶことの必要はわかるとしても、はたして「ヨクアソブ」ようになるかどうかは問題である。学校はいまのところ余暇の指導まで手が及んでいない。高度成長計画に追いつくために、数学や理科をつめこむことに一生懸命で、主要五科目などといわれて、音楽や体操や美術はかすんでいる。

子どもたちが大人になるときには、週五日制になると思われるのだが、子どものときから遊びの方は、商業娯楽にまかせきりということになると、大人になってからあいかわらず流行に左右され、宣伝広告に追いまくられていくようになるのではあるまいか。

自分たちが、仲間と一緒に楽しみながら向上していく余暇のつかい方に欠けているという問題は、すでに青年たちにもはつきりあらわれているように思える。教育は百年の計というが、われわれはまだ才一課も実践できないでいると思うと、情けない気もしてくるのである。

文部省認定社会通信教育

―あなたが必要としている

この瞬間にも…

あなたがこれをお読みになっている今、二〇万人もの人が興味深く効果的に「社会通信教育」で学んでいます。青少年も、家庭の主婦も、老人も、そして自分の事務の能力を高め生活の安定を得たいと熱心に望む人達が、働きながらレジャーを楽しみながら確実に勉強し前進しています。

学校を出てからの勉強はどのような方法がよいか：

学校は基礎的なことしか教えません。社会に出てから、現場に出てからの激しい日々の変化や進歩にはとても対したらよいでしょか。絶えず勉強していかなければ時代にとり残されてしまいます。

新しい技術、知識、教養の宝庫

十代、二十代、三十代…のたくさんの人が男女を問わず学んでいます。この人達は実技をみがき、教養を高め、検定試験を受けるなど着実な人生を歩いています。みんな若々しい気持ちで、たのもしい人々です。こうして今までに一〇〇万人もの人が勉強してきたといわれます。

文部省認定とは…

通信教育には、大学、高校などの学校通信教育と、社会教育法という法律による社会通信教育とがあります。この法律により厳重な審査に合格したものが文部省認定社会通信教育です。単に教科書を送るだけでなく、質問に答え、答案に筆や教養をのばしていく講座もあるなど、受講者の身になって、一刻も早く目標に達するようお手伝いする―これが認定社会通信教育のやり方です。

国は県や町村の教育委員会と連絡をとり、学習班を世話したり、学習会をひらきますので、ますます勉強の能率はあがります。また優秀な成績で修了した人は毎年、文部大臣から表彰されます。

修了すればどんな資格がつくか…

この通信教育を終っても別に資格はつきません。自由貿易の今日、産業は合理化され、今後ますます能力主義がさかんになるでしょう。社会通信教育は実務力をつけるのが才一目的であり、各種の検定資格をとり社会に認められます。あなたも将来をみつめ、方針をたてて人生の充実をはかってください。

現在認定されている社会通信教育講座には…

◆事務的なもの

簿記・工業簿記・原価計算・現代事務・統計・マネジメント・経営数学・計算尺・孔版・訪問販売・商店実務等の各講座

◆技術的なもの

電気工事・電気工学・電気科学・ラジオ・テレビ・アマチュア無線・無線通信士・無線技術士・採鉱冶金・建築士・建築製図・機械製図・女子製図・自動車・機械科・農業・酪農・食品加工・司厨士・簡易洋裁・文化服装・スタイル画・ドレメ服飾・和裁等各講座

◆教育的なもの

英語・フランス語・書道・ペン習字・音楽・西洋画等の各講座があります。

くわしいことは…

この記事をよんで、受講してみたい、あるいはもっとくわしく知りたいとお考えになった方は、まず町教育委員会社会教育係にご相談ください。それぞれ目的に合った講座の内容、課程の特色、受講料や実施回休申込みの方法などくわしくお知らせします。

尚、学校教育法による高校、大学の通信教育についてもご相談に応じます。

才二回福島県社会通信教育研究会のお知らせ

○期日　昭和40年1月31日

○場所　郡山市　県立郡山工業高等学校

○わが国見町にも現在この通信教育で勉強している熱心な方がたくさんいられます。県教育委員会では、県内のこういう人々のためにこの研究集会（面接指導）を開くのです。みんなで参加されるようお知らせします。

定期配分フイルム案内

○テレビッ子（二、五巻）

子どもに対するテレビの影響と正しい見せ方を考えさせ、テレビとしつけについての問題点を提供する。世界才二のテレビ普及率（九二％）を誇ると同時に、大人もまた考える必要がある

○お父さんの勉強（二巻）

子どもや家庭をとりまくいろいろの問題は母親だけにまかせず、父親も共に考えることがたいせつ。夫妻成人学級にまでに進んだ姿を描いている。

○成人病問答（三巻）

近頃国民死亡原因の王座にのしあがった高血圧とがんについて説明する。

○青春のこだま（三巻）

新生活運動をえがく。

○故郷の便り（三巻）

出稼ぎ者対策の一つとして青年たちが手紙のやりとりをし、両者の心をつなぐ糸づなとする共に、文化の吸収に役立てる。

○妻の地位（三巻）

夫の理解と妻の自覚によって妻の地位が高まり、家庭民主化が実現する。

○その他

オーケストラの楽器

根のはたらき

死の灰

病菌はどこにあるか

以上は一月二十六日まであり次のは十二月二十六日まで

○公衆道徳（三巻）

公衆道徳を守ることは他人のためでもなく、みな自分のためであるということをわかりやすく描かく。

○その他

誰がやるだろう（二巻）

本を読むお母さん（三巻）

腕白日記（三巻）

だまっていてはいけない

登呂（三巻）

医者のくるまで

おばあちゃんありがとう

手は語る（一～三）

婦人と新生活

農山村の婦人たちが水汲み労働から解放されたいと叫んで、各地で簡易水道を引く運動を起こしたのはつい十年あまりまえのこと、蛇口からほとばしる清水を見た喜びにはげまされて、台所改善、食生活改善、何々改善といわゆる生活改善が盛りあがつたのもついこないだのような気がする。そして、それだけ主婦から省かれた労働時間は、育児や読書グループの話し合いにまわして教養を高めようと、婦人学級を開かれたのもそのころである。ところでいまはどうであろう。簡易水道どころではない。電気洗濯機、自動炊飯器、電気冷蔵庫、プロパンガスなど、主婦の台所仕事はスイッチ一つにまかされるものが多くなった。それなのに、これら農山村の主婦たちは、どれほど労働から解放されたというのだろう。解放どころか、反対に男手にかわる農作業の重労働で、命にヤスリをかける毎日である。科学技術の進歩が、日日の生活手段にまでおよんで、暮らしが便利になるその裏側に、こんな人間虐待が待ちかまえていてよいものか。農村ばかりではない。都市の工場では人間がベルトコンベアに使われている。街頭では交通戦争のまつただ中を右往左往させられている。二十世紀文明の裏側は墓場なのか。「人間」をただ一つの目的にして展開してきた新生活運動は、いまこそもう一度深く考えて見るときを迎えた。ことしもあと半月、猛省をしよう。

ある老人クラブの目標

一、健康な人になりましょう

二、親切な人になりましょう

三、すなおな人になりましょう

四、品性のよい人になりましょう

五、日々感謝して暮らす人になりましょう

六、今日も笑顔で過ごしましょう

七、今日も怒るのはやめましょう

八、自分の心をいつも平静に保ちましょう

九、良い事を気づいたらなんでもしましょう

十、みんなで力をあわせ明るい社会を作りましょう

老人クラブ役員

◎藤田老人クラブ

会長　吉田　幸平

副会長兼会計　佐久間喜一

世話人　鈴木伝之助　寺島トミ　大野コト　奥山カヤ　佐藤勝太郎　宍戸嘉一　松浦吉次　菅野藤一

千葉源三郎

◎小坂老人クラブ

会長　佐藤　忠一

副会長兼会計　林　元衛

世話人　安孫子宇太郎　仲野直一郎　渡辺亀吉　富塚伊助　熊坂彦一　安藤長重　高橋千治　瀬戸安一郎　菅野喜助　赤坂善次郎

◎森江野老人クラブ

会長　後藤　万七

副会長兼会計　蓬田　直一

世話人　遠藤庄治　石川清躬　佐藤政右工門　大波吉兵工　菊地亀七

◎大木戸老人クラブ

会長兼会計　大沼　慶一

副会長　谷津　平作

世話人　菊地慶次郎　後藤政治　林次郎　遠藤政治

◎大枝老人クラブ

会長　佐藤　岩吉

副会長　小林　泰助

会計　鈴木栄太郎

世話人　佐藤慶治　鈴木朝治　瀬戸伝治　井砂周蔵

◎連合会

会長　東海林忠次郎

副会長　後藤　万七

会計　蓬田　直一

史上最低―来年の新人生

三年三月一日調べ

（）内は学級数

	男	女	計
小坂	八六	二五	一一一
	(1)		
藤田	四八	四九	九七
	(2)	(2)	
森江野	一三二	一三五	二六七
	(2)	(2)	
大木戸	一三一	一三九	二七〇
	(1)	(1)	
大枝（国見分）	一〇	六	一六
計	二四	九	三三
			(7)

編集後記

○おぢいさん、おばあさん、元気をだしてがんばつて!!わたしらみんなで応援します。

フレーフレーおとしより!!

○酒のみに行くときはバイクをおいて出かけてくなんしよナイ……子どもより

○大いにうたつておどることこれ最良の健康法。ヨクアソブの道なり。

○酒をのんでうたうものありこれ酒の力をかりてうたうものにして、いわばカンニングなり。ヨクマナブ道にあらず。

○道を求めてやまず……とか自学自習の姿こそ老若男女を問わずまことに尊といものなり。